

いのちの言の葉2025

富山県教育委員会 令和7年度いのちの教育総合支援事業

「いのちの授業（元教員）」
氷見市立北部中学校（令和7年10月実施）

「いのち」の大切さを学ぶ ～人と自分の関係性から～

①カウンセリング指導員の話

- ・いのちの先生の紹介
- ・今日のルールについて

②いのちの先生の話

- ・命について
- ・自分の命が喜ぶ生き方について
- ・大切な人を喜ばす生き方について
- ・SOSの出し方



【保護者のメッセージ】

お腹にいのちがあると分かった時、本当に嬉しくて生まれてくる子の顔をずっと想像していました。やっと会えた時は、腕の中にいるあなたが愛おしくてうれしくてたまらなかった。でも、いのちは当たり前にあるものじゃない。いつ何が起こるか分からないからこそ、一日一日を大切にしてほしいと願っています。自分の心と体を大切に、疲れたら休息してまた少しずつ成長してほしい。いつも応援している家族がいるし、支えてくれる友達もいることを忘れないで、このいのちを大切に生きてほしいと願っています。

【生徒のメッセージ】

小学2年生の冬に大好きだったおじいちゃんが病気で亡くなってしまいました。初めて「死」を実感し、それまであまり触れたことのなかった命について考えるようになりました。私はおじいちゃんがつないでくれた一つしかない命を、最後まで大切にしていきたいと思いました。たった一度の人生を悔いが残らないようにしたいです。